



“Rife” (Some Bizzare RIF1-4)

なまでに細部を組み上げたものとはもちろん違いますが、その代わりナマ身の人間たちが発するオーラが引き締まったサウンドやリズムとなって圧倒的な空間を作り上げていく。5年前のアルバム『ホウル』の「クローズ・ホイスト」がオリジナル以上にテンポ・アップされてまるでスラッシュ・メタルまがいのスピードで歌われ、改めて、すでにあの時点で幾つかの展開が示されていたのではと思ってしまう。ジャケットにもステッカーが張られているだけでろくにクレジットがないことから、オフィシャル・ブートレグという感じもするので、興味のある人は早めに入手したほうがいいだろう。

そういえばジム・フィータスが以前来日したときにフィルムを上映した映画監督リチャ